７番	朝井　賢次　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
１.本市の自治会の今と未来について 【質問趣旨】 　少子高齢化や生活様式の多様化に伴い、本市の自治会は加入率の低下や役員の高齢化、担い手不足など深刻な課題に直面している。一方で、災害後の助け合いや日頃の見守りなど、地域コミュニティの中核としての重要性はますます高まっている。こうした現状と課題に対する市の認識を確認するとともに、自治会の負担軽減や加入促進、地域事業者や行政との連携など具体的な対応策を確認する。 　そのうえで自治会・住民・事業者・市がそれぞれの役割と責務を共有し、地域全体で支えあう仕組みを確立、推進していくため、条例等の制定に向けた市の見解を伺う。	（１）現状の課題と危機感の共有について	①自治会加入率について、過去１０年間の推移と連区ごとの加入率の差についての分析と見解を伺う。 ②集合住宅の増加や単身・共働き世帯の増加など、居住実態やライフスタイルの変化が加入率低下に与える影響についてどう分析しているか伺う。 ③自治会、町内会における年齢構成や、担い手不足の課題を実態調査していくことは、課題の把握と解決策立案の足掛かりとなると考えるが見解を伺う。 ④防災、防犯、福祉（高齢者や児童生徒の見守り）、環境美化など日常から非日常まで地域の安全安心を支える自治会の役割の重要性と加入率低下が招く危機についての認識を伺う。 ⑤ごみ集積所の管理や防犯灯の維持、防災訓練の運営など、自治会費や役員の労力で維持されている公益的な環境を非加入者も享受している現状について、見解を伺う。
	（２）課題解消の方策について	①回覧板の回付や各種調査、募金活動など、市から自治会へ依頼している業務の総量把握とその縮小を行う必要性について見解を伺う。 ②自治会運営のデジタル化、町内会のグループ LINE、オンライン会議の導入など、役員の負担軽減につながるデジタル化導入についての必要性と技術的・財政的支援について見解を伺う。 ③転入手続きの際、自治会への加入案内やパンフレット配布に対して、現状を踏まえた上でより実効性を高めるための方策についての認識を伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
　　２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
　　３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

７　番	朝井　賢次　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
		④持続可能な自治会の確立に向けて、担い手や次世代リーダーの育成支援は有効と考えるが、若い世代や現役世代が参加しやすい仕組みづくりや、自治会活動のプロモーション活動、自治会運営のノウハウを学ぶ人材育成施策についての見解を伺う。
	（３）自治会を地域全体で支えあう仕組みづくりについて	①自治会は単なる任意団体ではなく地域コミュニティの核であり、今後も維持されるべき存在という認識についての見解と、この認識を行政、市民、事業者が共有する必要性について伺う。 ②希望する市職員が、居住地域の自治会活動に積極的に参加できるような服務上の配慮や意識啓発についての必要性について、見解を伺う。 ③地域に拠点を置く企業や事業所、コンビニ、スーパー、ドラッグストアなどが自治会と連携していける体制づくりを構築していくことの効果と必要性について伺う。
	（４）自治会加入率を向上させるため、施策の実効性と推進体制の確認	①自治会加入率を向上させるため、瀬戸市自治連合会や各連区自治会との意見交換会や実態調査は定期的に実施していくべきと考える。実施実績と反映された施策を伺う。 ②自治会未加入者が自治会町内会が実施管理している地域のサービス（ごみ集積場・防犯灯設置・あくまで任意であるが各種募金）を享受していることに、運営者及び加入者の不満があり、担当課もこの現状は十分認識している。ここを解消していくための方策についての検討状況を伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

７　番	朝井　賢次　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（５）自治会加入の促進と活動推進のための条例制定について	③このまま自治会加入率が低下していけば、市民福祉の向上を図るためのコストが増加していくものと予想される。加入率向上は担当課だけでなく全庁的な議論が必要と考えるが見解を伺う。 ④物価高騰対策や時代に合わせた活動内容の変化に対応していくため、自治会への財政上の支援のあり方について、見解を伺う。 ①自治会の加入率向上のため「自治会の意義、役割」と継続的に自治会の負担軽減や人材育成、財政措置に取り組むことを「市の責務」として明文化し、市全体で共有する必要性について伺う。 ②自治会の加入率低下の問題は本市のみならず全国的な問題と捉えられる。その課題解消に向けて、自治会を活性化する条例を制定する自治体が近年増加してきている。本市として他市の事例や効果を調査研究していくべきと考えるが見解を伺う。 ③条例制定の効果を調査研究していくためには、本市の自治会加入率の今後について、まずはトップである市長が危機感を持たなければと考える。未来の世代に豊かで暮らしやすい地域コミュニティを継承していくため、自治会、地域住民、事業者、そして市（行政・議会）が一体となって支えあう 「(仮）瀬戸市　未来へつなぐ支えあい条例」制定に向けて協働推進していくべきと考えるが今回の質問、答弁も鑑みた市長の考えを伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【(１)、(２)、(３)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。